

まちに活力、人に安心、魅力あふれる都市づくりを進めるために！

6つの調査項目について、次のとおり報告しました。



議会本会議での委員長報告



感染防止対策を講じた現地視察

1 各交流拠点の整備について

古河駅東部土地区画整理事業については、5.8ヘクタールの大街区処分が事業の成否を決めるだけでなく、古河市全体のまちづくりを進めるうえでも、喫緊に解決し、具現化しなければならない最重要課題として、次のとおり提言する。



大型施設等の進出が期待される、古河駅東部土地区画整理事業大街区

- ①国県公共施設（茨城労働局・茨城県古河警察署）の移転計画が決定しているが、新市建設計画では、文化交流拠点としての位置付けがなされている。このため、公共施設群の集積をはじめ、商業施設の誘致や古河体育館の跡地・親水公園・調整池等を活用したアーバンスポーツの導入など、エンターテインメント性を兼ね備えた複合的な土地活用を図り、人が集い賑わいを生む空間づくりを進めるためのまちづくりビジョンの提示。
- ②公会堂の再建については、市の魅力度向上につながるよう古河駅東部土地区画整理事業のみならず、周辺地域の一体的な整備・推進。

新たな産業拠点の形成については、カーボンニュートラルに向けた産業界の動向等を的確に捉え、次のとおり提言する。

- ①未来産業基盤強化プロジェクトを活用した早期の具現化。
- ②水素ステーション整備に向けた、積極的な調査・検討。

2 防災・減災体制の確立について

市の面積のほぼ半分が浸水想定区域となり、人口の約半数がこの区域に居住する地域特性があることから、次のとおり提言する。

- ①マイ・タイムラインに基づく早期避難の呼び掛けの徹底や、避難所の機能向上。
- ②十間通りおよび中央運動公園通りの浸水解消や、浸水危険箇所への早期対応。
- ③雨水幹線および貯留施設等整備に係る中期・長期計画を策定し、優先順位に基づく整備。
- ④広域消防施設の再配置・見直しの中で、災害発生時の対策本部の一端を担う消防本部の移転について、広域関係市町に要請。
- ⑤ネーミングライツ等の財源を活用した貯留施設整備の調査・検討。



令和元年10月台風第19号の際の利根川・渡良瀬川合流地点
提供：利根川上流河川事務所